

伊勢崎市立第三中学校

第1学年通信

令和5年12月8日(金)

第37号



『こころと街のバリアフリーを目指して』 ～すべての人が暮らしやすい社会の実現に向けて～

三中では12/1(金)～8(金)までを人権週間とし、12/1(金)に日本車椅子バスケットボール連盟代表理事である高橋俊一郎様を講師にお招きして、講演をしていただきました。はじめに、高橋先生が車椅子を巧みに操り、バスケットボール部員たちと一緒に楽しむ姿を見せていただきました。また、お話の中で、「高校生の時のけがで胸から下の感覚がなくなり、自暴自棄になったこともあったが、車椅子バスケットボールに出会い、再び前向きに楽しく生活していること」「福祉大国と呼ばれるような国にしたい。障害のある人もない人も誰もが幸せに暮らせる国づくりを目指して活動をしている」ことなどを話していただきました。高橋先生の生き生きと前向きに活動している姿から、たくさんのかんじを学ぶことができました。



自分ごとと捉えて『人権感覚を高めよう』

校長先生からは、「いじめをしない、見逃さない。偏見、差別をなくすためには、ひとり一人が自分ごととして捉え、人権感覚を高めることが大切である」というお話をしていただきました。人権とは、「誰もが生まれながらに持っている人間が人間らしく生きていくための権利」のこと、誰もが平等です。だから、クラスの中で、嫌な思いをしている友達がいなか気配ったり、自分にできることを考えて行動を起こしたりと、一人一人が自分ごととして捉えて生活できる『人権感覚が高い』集団になってほしいと思います。

12月11日(月)～12月15日(金)の予定

※幼小中学校美術展が9日(土)～11日(月)の9:00～16:30(最終日は15:00まで)に境総合文化センターで行われています。1年生12名の平面作品も展示されていますので、是非ご覧ください。(詳しくは配付済み別紙参照)

	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)
朝	読書	読み聞かせ	読書	読書	読書
1校時	月①	火①	水①	木①	金②
2校時	月②	火②	水②	木②	金①
3校時	月③	火③	水③	金⑤	金③
4校時	月④	火④	水④	木④	金④
5校時	月⑤	火⑤	水⑤	木⑤	銘仙教室
6校時		火⑥	水⑥	学校保健委員会	銘仙教室
行事など	制服登校 短縮5時間 部活動なし 14:50下校	体育着登校 短縮6時間 17:00下校	体育着登校 短縮6時間 17:00下校	体育着登校 学校保健委員会 17:15下校	体育着登校 銘仙教室 17:15下校

○伊勢崎銘仙体験教室について「ふるさと学習」の一環として『伊勢崎銘仙体験教室』を行います。その中で、現代の小物と羽織をコーディネートした、現代風な着こなしを体験する活動が予定されています。そこで、コーディネート用のアイテムとして帽子やキャップ、ベルト、ストールがありましたら、持たせてください。(新たに購入する必要はありません)

高橋俊一郎先生の講演会をきいての感想を紹介

車いすで生活することがどれだけ大変なものか分かりました。他にも足を失うということも、いま私が歩くことができているのもすごいことなんだと感じました。私は今まで車いすの人を見るとどうしてあんなったのかな?と思い、目でおってしまうことがありました。でも今考えてみると、車いすってだけで目でおってしまうということは相手に失礼だと思いました。障害者の方は他にもたくさんいて、そのみんなが毎日がんばって生きているということに感動しました。なにげなく過ごしていた1日が障害者の方にとっては、苦しく、つらい日でもあったということに気づけて良かったです。そしてこれからつらいことがあってもがんばって生きていこうと思えました。
(1-1 田嶋朱音)

辛いことがあって夢を諦めたりするのではなくて、そういう経験があるからこそ分かったこと、できること 出会うことがあるので、夢を簡単に捨てずに挑戦しつづけることが大切だと分かった。また、具体的にどういうことが大変なのか分かった。例えば、トイレ1つにもすごく時間がかかるし、人に嫌なことを言われてしまうこともある。けど「努力をすれば、何でもできる。」と未来へつき進んでいる姿がかっこいいと思った。突然の出来事だったのに、それを受けとめて今の自分ができることを全力で楽しんでいてすごいと思った。人生、楽しい、嬉しいことばかりじゃないけど、自分も高橋先生のように自分ができることを全力で取り組んでいこうと思った。人権について考えられるとても良い時間だった。
(1-2 赤池里心)

人権標語の紹介

相談して 僕は君の 味方だよ 柿沼 慧士

考えよう 一つ一つにある 言葉の重さ 栗原 季生

すべての人が 自由に楽しく幸せに 岩崎 沙彩

またねとは 次会う大事な お約束 岡本 琉人

すべての人が 口をそろえて 木田 英斗

「いい社会」といえる 社会へと

どうしたの? 困っているなら 手伝うよ

春山 未来翔